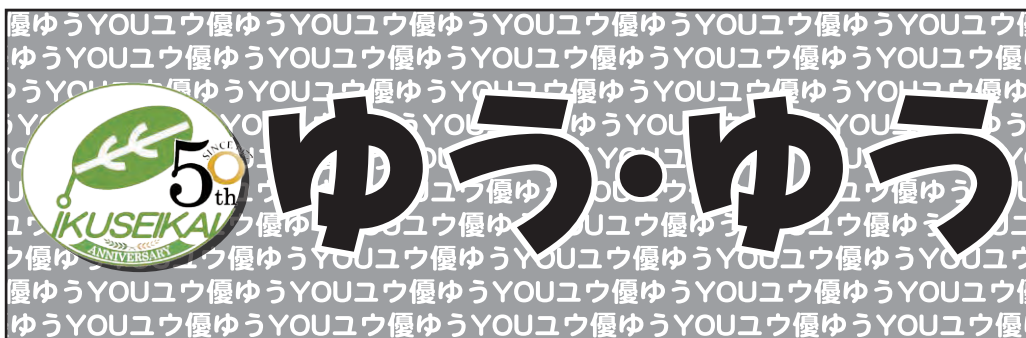




社会福祉法人 育成会
 いわき市常磐下船尾町東作51
 TEL (0246) 43-4466
 FAX (0246) 43-0056
 発行責任者
 理事長 佐藤みさ江

育成会ホームページQR
<https://www.ikuseikai.com>



創刊100号記念

おかげさまで

100号

を迎えました。



復活!!
 育成会太鼓

会報誌のネーミングに込めた思い

会報誌「ゆう・ゆう」の名前は当時の理事長、熊谷繁治氏により名付けられました。このネーミングは、利用者のみなさんとの交流のなかで、最も大切にしたい特性である「優しさ」に由来しています。人（ひと）に憂い（うれい）と書いて優。人の悲しみを自分の悲しみとし、黙って他人を許すという日頃の行為に見る優しさは、人としてもっとも優れた素質ではないでしょうか。優、友、悠。思いやりや優しさ、人との友情や信頼、心にゆとりを持つ。さまざまな意味がこの「ゆう・ゆう」という名前に込められています。



私たちは IWAKI FC を応援しています。

会報誌「ゆう・ゆう」100号達成に感謝！



社会福祉法人育成会 理事長
佐藤 みさ江

日頃から関係皆様には社会福祉法人育成会が発行する会報誌「ゆう・ゆう」に対し、ご愛読とご支援をいただき心より御礼申し上げます。

お陰さまで育成会会報誌「ゆう・ゆう」は今号で100号の節目を迎える運びとなりました。創刊からの歩みは平成12年（西暦2000年）7月に遡ります。それまでも各事業所単位で情報の発信をして参りましたが、この会報誌「ゆう・ゆう」の形に一新した事で、法人内全ての事業所情報が同じ紙面に掲載され、効率的に情報の一気見

ができる形として現在に至っております。

その内容は各事業所の季節の行事や日々の活動のひとつ、利用者自治会活動の様子、地域の皆様との温かい交流、法人や事業所の新たな取り組みの発信等、3か月毎の直近情報を網羅してお届けする中で、見出し毎に沢山の笑顔と感動のドラマがあり、ご愛読下さる皆様から頂くご意見や感想が励みとなっております。

これからの会報誌「ゆう・ゆう」も100号発刊の節目を未来へのスタートラインとして、引き続きご愛読下さる皆様の心に寄り添う温かい情報を発信し続けて参りたいと思います。今後とも変わらぬご声援を頂きたく宜しくお願い申し上げます。

理事長

と語る これからの 私たち

利用者自治会役員の皆さんと理事長との座談会を開催しました。日頃感じていることや、これからやってみたいことなど様々な質問や意見が出され、一つひとつの言葉に理事長が丁寧に答えながら皆さんの思いに耳を傾けました。

- 「熊本地震で、自分たちに何かできることは？」
- 「自分たちが作っている製品を知ってもらいたい」
- 「老後の生活が心配」
- 「男性職員を増やしてほしい」
- 「グループホームを増やしてもらいたい」
- 「他の施設や老人ホームを見学したい」
- 「みんなで記念撮影をしたい」 など

今回の座談会は、自治会役員の皆さんが自分たちの思いを伝え、理事長と一緒にこれからのことを考えるための貴重な時間となりました。



社会福祉法人育成会

2代目理事長

熊谷 繁治 氏と共に

歴史を振り返る



令和9年度に法人が創立50周年を迎えるにあたり、2代目理事長 熊谷繁治氏と職員で座談会を開催し、当時のご苦労や思いを語っていただきました。

○初代理事長阿部傳六氏から受け継いだ想いとは？

私にダウン症の娘が生まれて、ちょうど当時の夕刊に「暮らしの随筆」という欄があり、娘のことを書いたんです。それがきっかけで阿部さんから連絡をいただき、いろいろとお話をさせていただきました。

阿部さんご自身も、障がいを持つ子の親ではなかったのですが、PTA活動などを通じて地域の子供たちを分け隔てなく受け入れる、本当に心の広い方でした。

奥さんは心配していたようですが、偏見など一切気にせず、



二代目理事長 熊谷繁治 氏
平成2年12月～平成17年3月

信念を持って活動されていました。私はそんな阿部さんを心から尊敬していました。

阿部さんが亡くなられた後、2代目理事長を引き継ぎました。

当時の理事会役員には市議会議員などの立派な方がたくさんおられたのですが「阿部さんの想いを一番よく知っているのは自分だ」という自負がありましたので、若輩ながら手を挙げさせていただきました。阿部さんが持っていた「人は皆平等である」という感覚、支援していることとする真っ直ぐな気持ち。それを引き継ぐのが私の使命だと思って今日までやってきました。

○現在の育成会の姿を見て、どのように感じていらっしゃるでしょうか。

一生懸命に関わっている職員の皆さんには本当に頭が下がります。今の育成会がここまで発展したのは、船出の時の苦労があったからこそだと思っています。特に「希望の園」を泉地区に作る時は大変でした。平成15年の開所でしたが、当時は地元の方々の理解を得るのが難しく、毎晩のように集会を開いて



初代理事長 阿部傳六 氏
昭和52年4月～平成2年11月
(平成2年11月 ご逝去)

話し合いました。地元の方からすれば、よくわからない施設ができることへの不安が強かったでしょう。あまりの反対の強さに「もう諦めて別の場所を探そうか」と弱気になったことも正直あります。でも、担当の職員達が一生懸命に動いてくれているのを見て、「ここで自分が諦めてどうするんだ」と思い直し、粘り強く対話を続けました。今では婦人会の方々がボランティアに来てくださったり、お祭りにお手伝いをいただいたり、あの当時の激しい反対が嘘のように、今は強い味方になってくださっています。歴史を感じますね。結果的にあそこできて本当に良かったと思っています。

○今後、育成会がどのように発展していくてほしいですか。

一番大切なのは、利用者さんたちを愛する気持ちです。たまに障がいを持って生まれた。それは本人たちのせいではありません。そんな彼らが笑顔で幸

せに暮らせる社会であれば、世の中全体が幸せになれるはずです。職員のみならずには、この仕事に誇りを持ってほしい。利用者のみなさんと共に歩み、彼らの幸せを支えることは、社会づくりの根幹に関わる非常に大事な仕事です。差別や偏見をなくしていくためには、まず自分たちが動き、地域社会に彼らの存在を正しく伝えていく必要があります。その一翼を担っているのがこの育成会です。これからも、利用者一人ひとりの声に耳を傾け、彼らが地域の中で一人の人間として豊かに生きていけるよう、光を投げかけ続けてほしい。それが私の心からの願いです。



今年度も折り返しとなる9月を迎え、我が家では夏休みを終えた子どもたちの元気な声が、変わらぬにあらわれています。先日、元理事長の熊谷氏から法人設立当初の貴重なお話を伺う機会に恵まれました。初代理事長・阿部傳六氏を慕い、障がいのある方々のために尽力された情熱に大きな勇気をいただくとともに、「利用者の方の幸せのため」という支援の原点を再確認させていただきました。特に印象的だったのは、近江学園を見学された際のエピソードです。園庭で利用者の方と職員が心を通わせ、何とも言えない優しい雰囲気にも包まれていた姿に、「支援の本質」を感じられたとお話してくださいました。

日々の忙しさの中で、時に大切なことを見失いそうになる私ですが、先人が築いてこられた想いを受け継ぎ、目の前の利用者の方お一人おひとりと心を通わせながら、これからも精進してまいります。ペンネーム…

けろけろけろっぴ



障害者支援施設 (生活介護)

いわき育成園



いわき育成園は、法人唯一の入所施設です。日中は生活介護、夜間は施設入所支援のサービスを提供しています。一年を通して季節を感じられるよう、行事や給食のメニューなど工夫をこらしています。



就労継続支援B型

みなみテラス

みなみテラスは、地域とのつながりを大切にする「地域共生型事業所」として平成31年4月に開所しました。農福連携や企業・地域団体との連携を通じて、障がいのある方の働く機会を広げ、共生社会の実現を目指しています。



共同生活援助

ライフサポートセンター「ゆう・ゆう」



共同生活援助事業所として、6ホーム30名の暮らしをサポートしています。安心して暮らしていただけるよう、日中活動事業所や居宅介護事業所等と協力して、生活を総合的に支援しています。

いわき希望の園



青パイパヤ石けん
熱帯の国で栽培されているイメージ

のあるパイパヤですが、四倉町にある「麦わらファーム」さんで作っている青パイパヤを配合した石けんが新しく仲間入りです!!

☎ (0246) 75-0202



EM米ぬか石けん (潤)
弱アルカリ性石けんに米ぬか、EM等を配合しています。



EMセラミック石けん (和)
弱アルカリ性石けんセラミック、EM等を配合しています。

製品取扱店舗…
・晴レル家 ・農産物直売所 そのふあ

みなみテラス



革の赤べこ

福島県の郷土玩具「赤べこ」を本革で表現した組み立てキット。革の風合いと手作りの楽しさを味わえる新しい伝統工芸です。

オリジナルブレンドコーヒー

利用者の皆さんが手作業で選別した高品質なコーヒー豆を使用。フェアトレード豆を使用し、就労支援とSDGsにつながる一杯です。



☎ (0246) 88-7689

製品取扱店舗…
道の駅 いわき・ら・ら・ミュウ (革の赤べこのみ)



生活介護・就労継続支援B型 いわき学園

いわき学園は、生活介護と就労継続支援B型のサービスを提供する多機能型事業所です。

それぞれの活動を通して、一人ひとりが力を発揮し、働くことの喜びや達成感を感じながら、自分らしく活動できる場を提供しています。



生活介護 いわき光成園



いわき光成園は、平成8年4月に開所し、今年で30年を迎えました。定員40名の利用者さんが通う知的障がい者の生活介護事業所です。意思決定支援を基盤とした日中活動を展開し、質の高いサービス提供を目指しています。



生活介護 いわき希望の園 (こすも) 就労継続支援B型 いわき希望の園 (ゆにば)

いわき希望の園は、こすも（生活介護）とゆにば（就労継続支援B型）の2つの施設を1つの建物に設置した合築型施設です。一人ひとりの「やってみたい」を大切にしています。



各施設のイチ押し紹介!!

ここでは各施設の利用者さんが心を込めて作った「イチ押し」の商品をご紹介します！

いわき光成園



白いキャンドルを再利用し、色付け・絵付けまで手作りした赤べこキャンドルをはじめ、和菓子やシーサー、プリン、落雁などを販売しています。

☎ (0246) 43-0012



牛乳パックから再生紙を作り、オリジナルうちわを制作しました。

いわき学園 食房みらい



利用者の皆さんが心を込めて作る、焼き立てパンや焼菓子を販売。イチオシは、塩味とバター風味が楽しめる「ソルトクッキー」です。

【食房みらい製品取扱店舗】(順不同)

- 道の駅よつくら
- マルト (玉川店、湯本店、君ヶ塚店、草野店、四倉店、尼子店)
- くさの根
- ワンダーファーム 等

☎ (0246) 43-4445

令和7年度

社会福祉法人育成会

会計報告

法人単位資金収支計算書

(自) 令和7年4月1日～(至) 令和8年3月31日

単位：円

勘定科目		決算
事業活動による収支	事業活動収入計	811,212,771
	事業活動支出計	745,867,167
	事業活動資金収支差額	65,345,604
施設整備等による収支	施設整備等収入計	6,800,000
	施設整備等支出計	90,251,799
	施設整備等資金収支差額	△ 83,451,799
その他の活動による収支	その他の活動収入計	136,897,745
	その他の活動支出計	54,403,296
	その他の活動資金収支差額	82,494,449
予備費支出		
当期資金収支差額合計		64,388,254
前期末支払資金残高		316,539,315
当期末支払資金残高		380,927,569

法人単位事業活動計算書

(自) 令和7年4月1日～(至) 令和8年3月31日

単位：円

勘定科目		決算
サービス活動増減の部	サービス活動収益計	803,468,148
	サービス活動費用計	778,555,105
	サービス活動増減差額	24,913,043
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計	8,133,747
	サービス活動外費用計	6,248,043
	サービス活動外増減差額	1,885,704
経常増減差額		26,798,747
特別増減の部	特別収益計	6,799,999
	特別費用計	4,800,002
	特別増減差額	1,999,997
当期活動増減差額		28,798,744
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	358,193,133
	当期末繰越活動増減差額	386,991,877
	基本金取崩額	-
	その他の積立金取崩額	130,784,000
	その他の積立金積立額	49,114,000
	次期繰越活動増減差額	468,661,877

法人単位貸借対照表

令和8年3月31日現在

単位：円

資産の部		負債の部	
流動資産	406,807,880	流動負債	61,225,373
固定資産	1,151,293,337	固定負債	94,787,171
		負債の部合計	156,012,544
		純資産の部	
		基本金	314,601,701
		国庫補助金等特別積立金	357,587,731
		その他の積立金	261,237,364
		次期繰越活動増減差額	468,661,877
		純資産の部合計	1,402,088,673
資産の部合計	1,558,101,217	負債及び純資産の部合計	1,558,101,217

脚注：1. 減価償却費の累計額 1,041,150,111 円
2. 徴収不能引当金の額 0 円



イクボス研修を受講しました！

福島男女共生センター様から講師を派遣いただき管理職等課長以上の職員がイクボス研修を受講しました。株式会社ペンギンエデュケーション代表取締役の横田智史氏による講義とワークショップの2部構成で研修は進められ、今、職場で求められるイクボス（職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らの仕事と私生活を楽しむことができる上司）について学びを深め、現在の課題と将来の事業所像を見つめなおす機会となりました。

笑顔をお届けに



常磐下船尾地区で一人暮らしをされている高齢者の方々のお宅へ訪問し、いわき学園の焼き菓子と、いわき光成園の手作りうちわをお渡ししました。

「ありがとう」と笑顔で受け取ってくださり、皆さんに喜んでいただくことができました。これからも地域とのつながりを大切に、心温まる交流をしていきたいと思ひます。

令和8年度第1回目となるエコキャップの納品を行いました。今回で通算32回目となります。今回集まったエコキャップの総重量は390kgとなり、39人分のポリオワクチンを支援することができました。毎回、地域の皆さまからたくさんのご協力をお寄せいただき、ありがとうございます。皆さまの温かいご協力に支えられ、活動を続けることができます。これからも皆さまのご協力を大切にしながら、活動を続けていきたいと思ひます。



第1回 エコキャップ活動

つながる 広がる 笑顔



秋田で開催された「第65回手をつなぐ育成会東北ブロック大会」にいわき学園の島村芳恵さん、いわき光成園の大平久美子さん、いわき希望の園の横田泰さんが参加しました。いわきから仙台まで高速バスを使い、仙台から秋田までは新幹線を使い、7時間の長い道のりを経て会場に到着。一日目は、長旅の疲れも見せず「一緒に見て・やってみて・楽しい時間を仲良く過ごそう」をテーマにした全体会に、元氣いっぱい参加しました。夜は、懇親会が開催され、食事を堪能しながら多くの仲間たちと楽しく交流したり、緊張しながらも自分から声をかけて名刺交換を行いました。

仲間 つながる in 秋田 本人大会



二日目は分科会に参加し、マジックショーやニュースポーツを楽しみました。東北6県から集まったたくさんの仲間と出会い、それぞれの想いや活動に触れることで、新たな発見や刺激を得ることができました。今回の出会いや経験を、今後の活動や仲間との交流に活かしていきたいと思う、実りの多い充実した時間となりました。

いわき
学園

笑顔あふれる音楽の時間♪

高久ギターサークルの皆さんが来訪し、演奏を聴かせてくれました。🎸ギターの音色に合わせて歌を歌ったり、体を動かしたりと大盛り上がりでした！素敵な時間をありがとうございました！

いわき
育成園

おでかけしました

利用者さん一人ひとりの希望に寄り添い、行きたい場所や欲しいものを選んで、楽しい外出を満喫しました。笑顔があふれる充実した一日となりました。

いわき
光成園

お楽しみ会

自分たちで育てたじゃがいもをじゃがバターで味わったり、プリンアラモード作りを行いました。笑顔いっぱいの楽しい一日となりました。

いわき
希望の園

すくすく成長！

今年の夏は『きゅうり』と『ミニトマト』を育てました！毎日の水やりを欠かさず行い、大切に育てた野菜は調理して、美味しくいただきました(^^)育てることから食育を学びました。

ライフサポートセンター
「ゆうゆう」

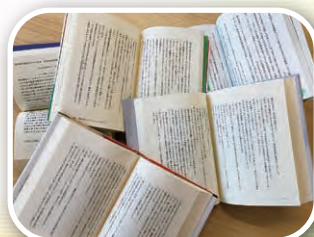
勉強会を行いました

いわき市出前講座を利用し「知って防ごう！食中毒」をテーマに職員勉強会を行いました。今後もグループホームでより美味しく安全な食事を提供していきたいと思ひます。

みなみ
テラス

本と人をつなぐ、リユースの輪

廃棄予定の本を丁寧にクリーニング・査定し、ネット販売の準備を行っています。この事業は古本屋「頁々堂」様より受託して実施しており、まだ読める本を次の方へ届けることで循環型社会の実現を目指しています。利用者の皆様の働く機会の創出と、SDGsに貢献する、環境と人にやさしい取り組みです。



訂正とお詫び

会報誌第99号の掲載記事(3ページ)において、表記に誤りがございました。

(誤) 役員代表が

(正) 役員が

(誤) 利用者自治会の皆さん

(正) 利用者自治会役員の皆さん

関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます、ここに訂正いたします。

編集
集後記

かつて事業所ごとに発行されていた情報誌「学園タイムス」、「育成園だより」、「光通信」が育成会会報誌「ゆうゆう」に姿を変えて26年。その間「いわき希望の園」や「みなみテラス」が加わり、充実した情報と見やすい紙面づくりを心がけて、この度100号記念特別号の発行を迎えることができました。これまで長く愛読いただいた皆さまに感謝申し上げますとともに引き続き応援いただけますようお願い申し上げます。

地域ふれあいまつり
(いわき学園・いわき光成園)
10月3日(土)
高倉祭(いわき育成園)
10月31日(土)
わせた希望まつり(いわき希望の園)
11月7日(土)
各おまつりの詳細は、HPやチラシ等をご覧ください。皆様のご来場をお待ちしています！



私たちは IWAKI FC を応援しています。